

5. 6年 総合学習「座談会」

令和7年6月号① 大谷小学校 地域活動推進員 堀志津

（地域おこし協力隊
大谷地区まちづくり推進員
吉田沙織さん）

- ・助産師の経験を活かして、公民館で健康教室を開催している。
- ・健康教室や交流の場を通して、地域の人に心も体も元気になってほしい。

（地域おこし協力隊
大谷地区まちづくり推進員
頼實孝明さん）

- ・新しい技術「ドローン」を使って、イベントを開催している。
- ・子供と大人が交流し、一緒に楽しい思い出ができるようなイベントを地域の人と一緒にやっていく。地域を元気にしたい。

（北部地区区長会長 小林重敏さん）

- ・区長として、住みやすい地域づくりのために活動している。
- ・地域の人と人とのつながりが、住みやすさにつながる。公民館を人が集まれる場にしたい。
- ・地域のためにやっていることは、自分のためにもなる。まずは、あいさつから。

（スマイルカフェ縁 joy コーヒー店主 渡邊恵美子さん）

- ・一人暮らしやお年寄りの居場所作りをしたいと思って、「スマイルカフェ縁 joy コーヒー」を開いている。
- ・自分の好きな笑うこと、笑わせることで、人と人をつなぎ、笑顔にしたい。

（事前インタビュー）

（大谷小地域活動推進員 堀志津）

- ・地域と学校をつなぐのが仕事。地域のことを知るたびに、地域が好きになっていく。
- ・地域と学校がつながることは子供たちの学びになるし、学ぶ子供たちの存在が地域を元気にする。



総合学習で地域のことを考えている5、6年生。「地域の方の思いを知りたい」という希望で、地域の方の座談会を開きました。「地域の思いを聞いている人、地域のために活動している人」ということで、たくさんいらっしゃる中から、4名の方に思いを語っていただきました。（お一人は事前インタビューし、堀が子供たちに伝えました。）

出席した方からは、「うなずきながら子供たちが聞いてくれて、とても話しやすかった。」「子供たちの思いもぜひ聞きたい。」「とてもいい学びをしているので、地域の人、町の人にも知ってほしい。」との感想をいただきました。今後の学習を楽しみにしてくださっている地域の方との出会いを、とても心強く感じました。

自分たちが思っていた地域の課題とはちがうのかも。

地域を元気にしたい！という思いが同じ。自分のできることで、人と人をつないでいる人たちだ。



私たちにも、自分たちができることで何かできるかも！